



令和5年度 福島県立原町高等学校 経営・運営ビジョン

規律 協同 責任

教育目標

未来を開く豊かな心を持ち逞しく生きる人間の形成をめざし、一人ひとりが自主的・主体的に学ぶ力を育てる。

教育方針

1. 高校生としての調和のとれた発達を図る。
2. 知識を深め、情操を豊かにし、実践力を養う。
3. 社会の変化に対応できる能力を育成する。
4. 国際社会に生きる日本人としての資質を養う。

～さらに地域から愛される学校へ～

校長 吉田 浩美

本校は、昭和14年4月に福島県相馬商業学校として創立され、昭和23年4月に福島県立原町高等学校と改称し、今年で創立84年目を迎える伝統校です。この間、県内はもとより日本内外で活躍する二万七千人を超える有為な人材を輩出してきました。

この良き伝統および自主・自立の校風を継承し、校訓「規律・協同・責任」と文武両道の精神のもと、心身ともにたくましく、自分の夢の実現に向け、何事にも怯まぬ強い勇気を持ち、未来を切り開くリーダーの育成を進めてまいります。そのためにも、教職員が一丸となって教育活動に取り組み、生徒一人ひとりの個性に応じたきめ細やかな教育を行い、その能力を最大限に伸ばせるよう努力してまいります。

令和5年度は、次の目標を掲げ、実践してまいります。

- ・学習に対する興味関心、意欲を喚起する質の高い授業を展開し、向学心に富む生徒を育成します。
- ・学校行事、部活動等をさらに活性化させ、原高文化の創造に取り組みます。
- ・向上心と探究心を備えた、最後まであきらめない生徒を育成し、高い進路目標の実現を目指します。

重 点 目 標

進路の実現

- ◎3年間を見通した計画的な指導により、最後まであきらめさせない進路指導を貫きます。
- ◎ガイダンス機能を充実させ、生徒一人ひとりの進路希望に応じたきめ細かい指導を展開します。
- ◎各種進路行事を通して早期の進路目標の形成、進路意識の高揚を図ります。
- ◎「主体的・対話的で深い学び」を実現する日々の授業と、個人での自律した学習を促進します。

学力の向上

- ◎対話による学びを取り入れ、考えさせる授業、考えを表現させる授業、他の考えに触れ、思考を深める授業を展開します。
- ◎分割による少人数授業を展開し、個に応じた学力の伸長を図ります。
- ◎ICT機器の活用により、わかりやすく、効率的な授業を実践するとともに情報処理能力を高めさせます。
- ◎タイム・マネジメント能力を高め、「集中と効率」によって、文武両道を実現します。

豊かな人間性育成

- ◎気品ある身だしなみと態度、規範意識を育てます。
- ◎学校行事や生徒会活動、部活動を通して、自主自律の精神や創造性、協調性を育みます。
- ◎生徒一人ひとりの理解に努め、カウンセラーや保護者と連携し、悩みや不安への支援を行います。
- ◎安全や健康、命の尊厳についての意識を高め、事故防止、心身の健康保持、いじめ防止に努めます。

保護者・地域との連携

- ◎学校情報、進路情報の積極的な発信に努め、保護者・地域との連携を深めます。
- ◎PTA、同窓会等と連携しながら生徒活動の充実を図ります。
- ◎地域の行事、ボランティアに参加し、社会性を養うとともに、地域社会に積極的に貢献します。
- ◎伝統ある「原高」としての誇りと自覚を持ち、地域から信頼される学校づくりに努めます。